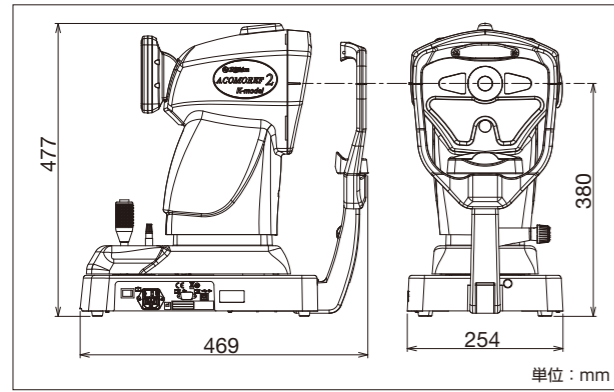


寸法図



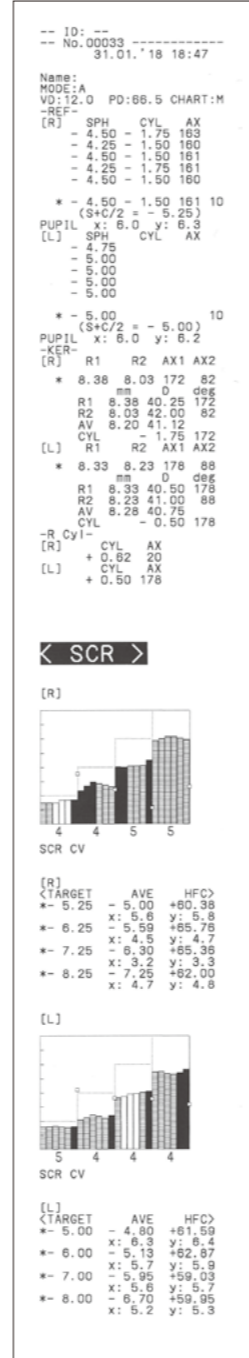
設定により可能

- ・スマートフォンの視認距離
- 5D 調節刺激
- ・AMF精密モード 181sec
- ・閾値の変更

放り込み式プリンタ



プリントアウト例



主な仕様

		ACOMOREF 2 K-model	ACOMOREF 2
屈折力測定	測定範囲	球面度数(S+C)	-20D~+23D(VD=12mm)
		乱視度数	0D~±12D
		乱視軸	0~180°
	最小瞳孔径	φ2.3mm	φ2.3mm
角膜曲率半径測定	測定範囲	角膜曲率	5.00~11.00mm
		角膜乱視	0D~±12D
		乱視軸	0~180°
	角膜中心部測定	φ3.2mm(R8mm)	—
角膜周辺部測定	φ6.8mm(R8mm)	—	
残余乱視測定	乱視測定範囲	0D~±12D	—
	残余乱視軸	0~180°	—
角膜サイズ測定		0~16mm	—
調節機能測定	SCRモード	調節刺激量	SまたはS+C/2:0~-3D/5D 4 Step/6 Step
		1 Step移動量	-1D
		測定時間	49秒/75秒
		調節刺激量	SまたはS+C/2:0~-3D/5D 8 Step/12 Step
	AMFモード	1 Step移動量	-0.5D
		測定時間	PRECISEモード(1 Step 20秒):181秒 SCREENINGモード(1 Step 10秒):101秒/153秒
	ADDモード	調節刺激量	SまたはS+C/2:0~-5D 11 Step
		1 Step移動量	-0.5D
測定時間	73秒(AMF測定時間 10秒)/83秒(AMF測定時間 20秒)		
瞳孔間距離測定		1~83mm	—
瞳孔サイズ測定		2.0~12.0mm	—
固指標		花火	—
顎受け可動範囲		45mm	—
本体寸法		W254×D469×H477mm	—
重量		13kg	—
入力電圧		AC100-240V 50/60Hz	—
消費電力		40VA	—
モニター		5.7インチLCDカラー タッチパネル	—
外部出力		RS232C, USB, 赤外線通信	—

安全に関するご注意 ■ご使用の前に「使用説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。

このカタログは2018年2月現在のものです。製品の仕様および外観は、予告なく変更されることがあります。



製造販売元
株式会社ライト製作所

本社・営業 〒174-8633 東京都板橋区前野町1丁目47番3号
TEL (03) 3960-2275 FAX (03) 3960-2285
ホームページ: <http://www.righton-oph.com>
Eメール: eigyousitsu@rightmfg.co.jp

サービス
株式会社東北ライト製作所

大郷工場 〒981-3521 宮城県黒川郡大郷町中村字屋敷前45番地の1
TEL (022) 359-3113 FAX (022) 359-3213

ご用命は



販売名称: オートレフラクトメータ ACOMOREF 2
届出番号: 13B2X10299000025
販売名称: オートレフラクトケラトメータ ACOMOREF 2 K-model
届出番号: 13B2X10299000026

このカタログは、FSC® 森林認証紙と省資源のためVOC(揮発性有機化合物)成分フリーの植物油インキを使用しています。



アコモレフ2シリーズ

眼調節機能解析・屈折測定一体型

眼調節機能解析・屈折測定一体型

オートレフラクトメータ
アコモレフ2

オートレフラクトケラトメータ
アコモレフ2
K-model



調節機能の測定時間を劇的に短くしたアコモレフシリーズが デザインを一新して新登場。

高速測定を可能にする検影式の伝統を継承しながら、より安定した高精度な屈折測定を実現するとともに、

調節微動の高周波成分から眼精疲労・調節異常を視覚的にとらえる、

調節機能・屈折測定・中間透光体観察一体型の「アコモレフ2」シリーズ。

IT機器の急速な発達や普及により眼精疲労を

起こしやすい環境や、高齢化が進む時代に

即応した、まったく新しい他覚検眼機です。

検査シーンに合わせてモニターを見やすい角度に

傾けることができ、さらに使いやすくなりました。



屈折

充実したオートレフラクメータ機能

改良 小瞳孔径の影響なく、安定した屈折測定を実現するために光学設計を見直しました。網膜から反射された測定光が受光センサーに投影される範囲を10%up(弊社従来機比)することで、最小瞳孔径φ2.3mmでも高精度で安定した屈折測定を実現しています。

- ・ 屈折と調節測定の安定化を両立させるユニークな花火チャート。
- ・ 瞳孔径を屈折測定と並行して自動測定。
- ・ 乱視用コンタクトレンズ、乱視用IOLの処方に欠かせない残余乱視 (Residual Astigmatism) を自動計算してプリントアウト。(K-model)
- ・ 角膜サイズ計測が可能。(K-model)



レフケラト測定画面



花火チャート

中間透光体混濁

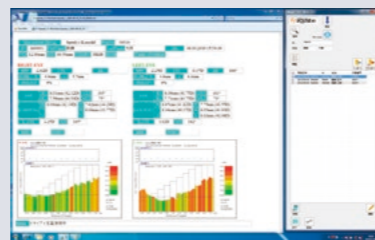
レトロ機能

徹照像により、中間透光体の混濁が観察可能です。モニター上の混濁の範囲を○で囲むことで混濁比率を、=で挟むことで混濁の高さを計測することができます。



簡易ファイルソフト "I"-File (オプション)

- ・ インターネットエクスプローラー (IE) を利用した簡易ファイルにデータを保存できます。
- ・ 特に、FK-mapのカラー印刷や過去データを検索したいときに便利です。



調節

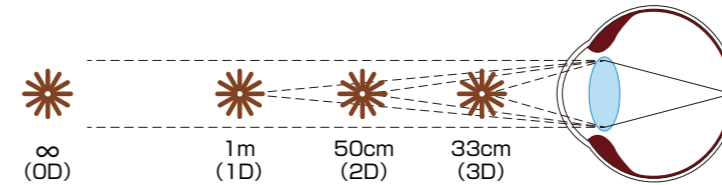
調節機能解析

提示された指標距離にピントを合わせようとしたときの調節反応量と、その調節を維持するために毛様体筋の緊張度合い (HFC) を他覚的に測定。測定の結果は、FK-map (Frequency of Kinetic reaction)により、個人差のある調節障害を視覚的に表示します。

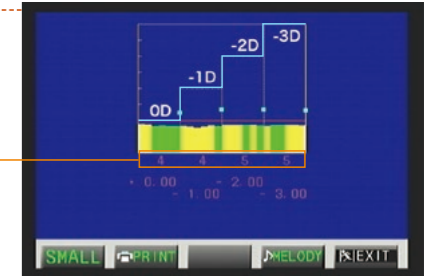
◆SCRモード

片眼49秒! 調節機能の測定時間を劇的に短縮!

被検者の屈折値を基準に、0D、-1D、-2D、-3Dと4ステップの花火チャートを各10秒間提示。花火チャートを凝視した際の調節反応量とHFC値を測定します。



測定終了 FK-map

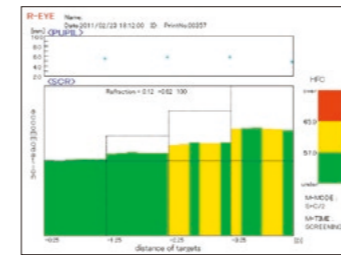


測定信頼度

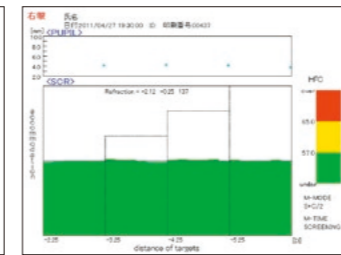
瞬きや固視不良などで1ステップ中にデータが0.2秒以上得られない状態をカウントし、その回数に応じて6段階で測定信頼度 (CV) 表示します。CV5: 1回もない、CV4: 1回、CV3: 2回、CV2: 3回、CV1: 4回、CV0: 5回以上

SCRモードによる症例

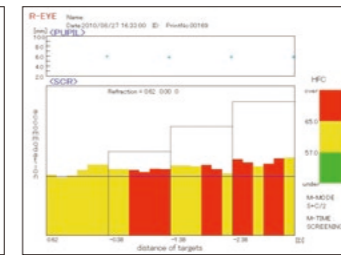
HFCの出現頻度が高い→グラフが赤くなる→過矯正、眼位異常、ドライアイ、調節障害の可能性



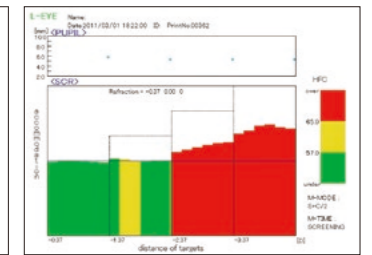
正常眼



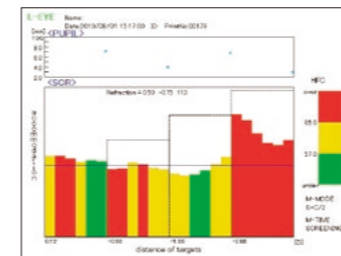
老視眼



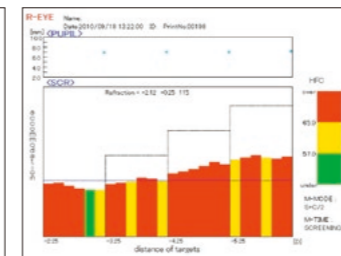
調節緊張症を伴う老視



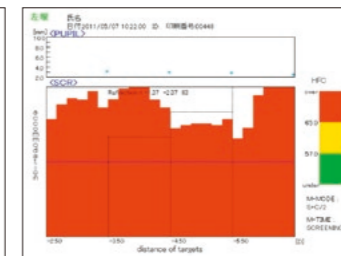
IT眼症 (CVS)



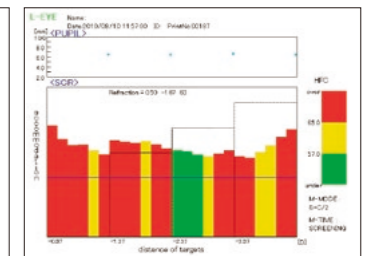
調節緊張とIT眼症の合併症



調節緊張症



調節痙攣



調節パニック

アコモレフ2シリーズは距離別に毛様体筋の調節微動を捉え個人差のある眼精疲労を視覚的にグラフに表示する機器です。調節範囲を測定するものではありません。

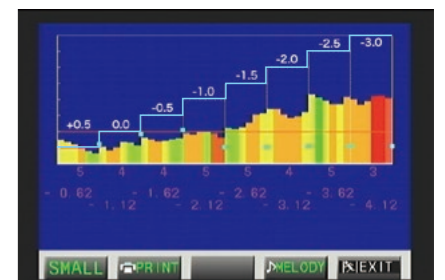
監修: 梶田雅義 / 梶田眼科

◆AMF (Accommodative Micro Fluctuations) モード

SCRモードで発見した被験者の症状をさらに精密に調べたいときや、調節機能を詳しく調べたいときに適したモードです。

SCRモードとの違い

- ・ 測定時間は片眼101秒です。
- ・ 1回の調節刺激量は0.5D、これを8回繰り返します。
- ・ HFC値はモニター上で6色、プリントアウトでは白黒3階調で表示されます。



◆ADDモード

他覚的に加入度数とインセット量を測定するモードです。

- ・ 測定時間は片眼73秒です。
 - ・ 調節刺激量は0D~5Dの範囲を1回0.5D、これを11回繰り返します。
 - ・ 自動算出した加入度数の位置でAMFにより調節緊張の度合いもチェックします。
- ※インセット量は両眼測定時に算出されます。
※片眼ずつ測定のため、加入度数とインセット量は参考値としてお取り扱いください。

